

平成22年度 相武台地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	郷土料理の伝承事業 【 No. 1 】
申請団体	郷土料理を伝える会
事業目的等	<p>地域活動をしながらかつて培った経験・知識を活かし、地域の住民に継承することにより、住民の世代間交流と魅力ある地域づくりを推進し活性化を図ることを目的としています。</p> <p>・郷土料理講習会「うどんとけんちん汁を作ってみよう」の開催</p>
交付決定日	平成22年10月 8日
交付決定金額	40,000 円 （全体事業費 40,278 円）
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>・11月27日(土)相武台公民館で郷土料理の講習会開催 昭和30年頃まで相模原でうどん作りが盛んでした。この郷土の料理を次世代の方々にも伝えていきたいと「郷土料理を伝える会」で開催しました。当日の参加者は30名。参加者は、伝える会メンバーと一緒にうどんとけんちん汁作りを体験。料理が出来上がると自分達で作った料理を食べながら、伝える会メンバーから相武台地域の昔の話に聞き入っていました。</p> <p>◇自己評価</p> <p>・郷土料理を伝える会メンバーの年齢が高齢でもあり、事業開催まで不安であった。開催するまでの間には、PTA という次世代の団体と連携したことで、参加者募集や次世代との交流もでき、世代間連携・団体間連携、公共的事業への参加者増となり、地域の活性化につながったと思われる。</p> <p>これからも、自分達の経験が役立つのであれば、できることを皆で協力していきたいと思ひます。</p>
市 評 価	<p>事業実施目的は「次世代への伝承」ということでした。伝えるという状況づくりをするために、団体間の連携をしながら参加者募集などが行われ、その結果、今までこの種の事業への参加がなかった年代の女性の参加も得られ、実行委員会構成メンバーの中心的役割を担ったわかな会の方々も団体連携の大切さを知り、事業の運営方法も理解ができたと思ひられます。これが契機となって団体間・世代間交流が推進されることを期待します。</p>
備 考	

申請事業名	第1回 相武台芸術祭	【 No. 2 】
申請団体	相武台芸術祭実行委員会	
事業目的等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域等で活動しているグループの発表の場の提供 ○ 多くの市民に見ていただくことにより活動の輪を広げる ○ 相武台地域の新たなイベントとして定着させ、地域の活性化を図る 	
交付決定日	平成22年10月 8日	
交付決定金額	1,050,000 円	(全体事業費 1,051,909 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成22年12月19日(日)緑台小学校体育館で相武台芸術祭を開催。23団体(個人含む)約600名が参加しました。午前9時30分から開会し、プログラムを展開し、トラブルもなく午後5時30分に終了することができました。役員及びボランティアスタッフ40名がそれぞれ駐車場・受付・出演者誘導・司会進行を担当しました。当日の参観者約 1,000名もトラブルや事故もなく終了することができました。 <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 終了後、多くの市民から「素晴らしい芸術祭でした」という感想をいただき、最高の喜びでした。次年度は、早めに計画を立て、さらに大きな地域のイベントとしていきたいと考えています。 	
市 評 価	<p>NPO 法人が今回、新たな担い手としての役割を十分担っていただきながら、実行委員会の事務局を担当し、相武台地区としての課題(新たな担い手・若年層の参加・国際色・新たな地域文化の創設)への取り組みが行われた。これを機に特色あるイベントとして自立的継続開催への取り組みとさらなる若年層の参加イベントとなり、地域の活性化につながる大きな期待を寄せています。</p>	
備 考		

申請事業名	相武台花いっぱい運動	【 No. 3 】
申請団体	相武台花いっぱい運動実行委員会	
事業目的等	相武台まちづくり会議構成団体をはじめ、地域内の各種団体が連携・協働して「花いっぱい運動」に取り組むことにより、各種団体間の連携強化を図り、地域のこどもから高齢者まで幅広い世代の公共的な活動への参加者の増加と地域の活性化を目的。	
交付決定日	平成22年11月15日	
交付決定金額	773,000 円	(全体事業費 773,146 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>実行委員会を中心に運動の展開を検討し、花苗の種別やポット、運動の啓発用看板のデザインの決定発注をし、12月上旬には各種団体への運動の趣旨について呼びかけを実施。さらにボランティアスタッフにより花苗の植栽作業と配布を行った。翌年3月にも花苗の植栽を行い、運動が展開された。今後も、四季を通じて活動の継続を実行委員会で検討していくことの理解もされました。さらなる団体間連携と個人(住民)の参加の輪が広がることが重要です。</p> <p>◇自己評価</p> <p>運動に協力いただきステッカーが貼られた数多くのプランターを見かけると、地域の一体感を感じ、花苗の管理を通じ、花のある潤いと会話のある地域づくりに繋がることを願いながら、活動の展開を継続的に実施していくことへの理解を求めていきたい。</p>	
市評価	相武台まちづくり会議構成団体が主体となって実行委員会が組織され、地域内の各種団体が連携・協働して「花いっぱい運動」に取り組みました。これにより団体間の連携が図られ、地域のこどもから高齢者まで幅広い世代の住民交流と公共的活動への参加者が増えたことで、地域内の活性化が図られつつあります。今後、さらに多くの住民参加があり、環境美化意識の高揚と住民交流が進み、自分達の住む地域づくりへの意識が高まるなど様々な波及効果が期待されます。花いっぱい運動が相武台地域独自に日常展開されることができかどうか、大きな課題でもあります。	
備考		